

体指よこすか

VOL. 9

平成22年12月1日
横須賀市体育指導委員協議会
発行責任者 武 雅兄

大和市と交流研修会開催しました！

事前の実行委員会、打合せを何回も行き 6月 26 日(土)に横須賀サブアリーナとオールシーズンを使用して、大和市横須賀市体育指導委員交流研修会を開催しました。

大和市は 38 名が大和からマイクロバス 2 台で参加、横須賀市は 45 名が参加、合計 83 名の人達が交流研修会に参加しました。10 時より開会式、午前中にソフトバレーボール、昼からカローリングの後、両市の情報交換会、場所をオールシーズンに移し、懇親会(会費制)を開催しました。

横須賀市武会長の開会の言葉に続き、大和市宮田会長のご挨拶、横須賀市スポーツ課伊藤課長の歓迎のご挨拶があり、横須賀市担当のソフトバレーボールを鈴木副会長の進行で 5 コートに分かれ開始しましたが、午前は大和市は 10 年からの実績・経験があり審判員は全コート、大和市の指導委員となってしまいました。

昼からは大和市担当のカローリングを 5 レーンセッティングして、大和市山本政徳研修部員の指導のもと行われました。子供からお年寄りまで楽しめそうな種目で、運動量は少なくともたいへん駆け引きのいるスポーツでした。是非、経験してみてください。

両市の情報交換会を行い、大和市は体育指導委員 57 名と社会体育振興委員 157 名で活動しているということが分かり、活動の仕方は色々なやり方があることが分かりました。

場所をオールシーズンに移動しての懇親会は山田副会長の乾杯の発声に一同乾杯、一杯目のビールのおいしかったこと。和気あいあいの歓談で時間のたつのも忘れ、最後に大和市

森副会長のご挨拶と鈴木副会長の閉会の言葉で、大和市の皆さんはお帰りになりました。

場所をそのまま借りて横須賀市の参加者で反省会を開き、大和市の指導委員の積極的な行動に多数の参加者から同じ様な驚きの感想が出ました。最後に交流研修会を開催するにあたり、多数の皆様のお手伝いありがとうございました。今後、どこの市と交流するかは別にして継続は必要だと思いました。

総務部庶務担当 村上 清志(高坂学区)



第1回地区別交流会を終えて

平成22年度横須賀市体育指導委員協議会の重点施策でその目的は、体育指導委員相互の親睦と学区間の交流、情報交換及びニュースポーツの研鑽を図り体育指導委員としての資質の向上を目指すものである。

市内を5地区に分けて5月30日(日)北地区から8月15日(日)中央地区まで、144名の指導委員が参加(46%)して実施した。進め方はそれぞれの地区で、常任委員を中心に実行委員会を作り、ニュースポーツの実技研修と学区活動状況の説明とディスカッションを中心に2時間～3時間でいい汗と有益な情報を得た。

詳細を述べると実技研修のスポーツはキンボール、ソフトバレーボール、ファミリーバドミントン、輪投げ他。初めてやる人も多く、基礎的なことを学んだ後は試合を重ねるたびに、上達していくのを多くの人が実感し、スポーツの楽しさを満喫していた。学区の活動報告では、同じ地区でありながら知らないことも多くそれぞれの学区が工夫している点、共通の悩みなどを学び・気づき、討議を通して理解を深めました。

各地区で出された主な意見を上げると、①少子高齢化問題・新興マンション群とのかかわりあい、行事へどう引き込んでいくか検討を重ねていく②本庁地区のように商業地域で他学区にない特異性に対する取り組み方、別な地区では農漁業の人が多のに支援が十分できていない③財政面でのお金集めと行事への参加者集めの方策④スポーツに必要性を感じている人が多くなっている中、多種目・多世代・多様なレベルに体育指導委員が対応できず、地域のことで精一杯⑤体育館があるが、同じグループが名前を変えて登録し利用している。やりたい人がいれば小さな団体から支援していく必要がある。⑥地域の中で体育指導委員の認知が低く、指導委員のレベルアップを図り信頼度の向上⑦総合型地域スポーツクラブへの取り組みの調査などである。

議論を通じて、地域で連携を取りながらスポーツを通しての健康作りの重要性を認識しました。そして計画した初期の目標は達成し、大きな成果を挙げることが出来たと思います。活動の内容の詳細は一覧表を参照願います。

第一回の地区別交流会の課題は二つ。①地区ごとに認識の違いがあり参加率の差が出た。②認識の違いは地区内での“声かけ”などコミュニケーションが体育指導委員間での意識の違いと人数(規模)の違いである。

今後は今回の反省点を踏まえ年1回の開催を定例化していく。また、人数が多かった中央地区を分割し、衣笠地区、本庁地区とする。交流会の進め方は今回と同じように学区の常任委員を中心に実行委員会を作り、実技研修の種目はソフトバレーボールに統一し、運営については地区ごとに検討していく。また、次年度も実行委員長は今回と同じ人が原則務め定着化にむけて体制整備を行なう。その中で今回の反省から実行委員長、実行委員は地区内にこまめに“声かけ”を行い多くの指導委員が参加できるような雰囲気作りも注力していく。

その後の状況で一番早く開催した北地区では、11月14日(日)に鷹取中学校で第二回の交流会を実施した。また、西地区で1月にキンボール大会を検討している。

編集次長 林 但(富士見学区)

第1回地区別交流会アンケート&スナップ

	北地区	中央地区	東地区	南地区	西地区
実行委員長	押井 秀夫	石川 輝雄	村上 清志	早 実	林 但
学区数	9	14	11	9	5
会員数	58名	102名	69名	57名	30名
参加学区	7	8	5	9	5
不参加学区	2	6	6	0	0
参加者数	39名	22名	20名	34名	29名
参加率	67%	22%	29%	60%	97%
開催場所	サブアリーナ	サブアリーナ	大塚台小学校 体育館	神明小学校 体育館	武山小学校 体育館
実技研修 内容	ソフトバレー ボール	ファミリー バドミントン	ソフトバレー ボール	キンボール 輪投げ	キンボール
良かった	95%	91%	アンケート未実施	91%	96%
普通	5%	9%	—	9%	4%
良くなかった	0%	0%	—	0%	0%
情報交換会	サブアリーナ ミーティングルーム	メインアリーナ ミーティングルーム	吉井町内会館	神明小学校	武山小学校
良かった	100%	86%	—	91%	100%
普通	0%	14%	—	9%	0%
良くなかった	0%	0%	—	0%	0%
総合評価			—		
良かった	100%	95%	—	87%	96%
普通	0%	5%	—	13%	4%
良くなかった	0%	0%	アンケート未実施	0%	0%
備考	第2回交流会 11/14(日) 鷹取中体育館			体育振興会長も 参加	地域でキンボール大会 を検討

北地区のソフトバレーボール



中央地区のファミリーバドミントン



東地区のソフトバレーボール



南地区のキンボール



西地区のキンボール



平成21年度年度末
平成22年度新年度

横須賀体育指導委員協議会総会

4月14日(水) ヴェルクよこすか6階ホールに於いて横須賀市体育指導委員協議会総会を開催しました。

まず、6時30分より、永年本市のスポーツ振興に尽力された地域体育振興功労者7名と体育指導委員5名に永妻教育長より感謝状が贈呈されました。

教育長から、地域の体育振興に対し感謝の言葉と体育指導委員の役割が多岐にわたるが本市のスポーツ振興にご協力を願うと挨拶がありました。

受賞者を代表して武山学区の高原体育指導委員より謝辞があり、贈呈式が閉会となりました。

引き続き7時より平成22年度の総会が森崎学区の石川氏の司会で開会されました。

加藤副会長の開会の挨拶に続いて、武会長より、22年度は地区別体育指導委員交流会や他市との交流会に積極的に参画をお願いしたい旨の挨拶がありました。

議事審議は、議長に富士見学区林氏、書記に神明学区の滝瀬氏、馬堀学区の椎名氏が選出され、21年度事報告・決算報告・監査報告、22年度事業計画・予算案の提案がされ、一括審議で満場一致で承認されました。

次に会則を現状に合った形にする為の一部字句改正を武会長が説明し承認され、以上で審議が終了しました。議長降壇にあたり、次の2つのお願いがありました。1つは、年間に最低1回の市の行事への参加。2つは、5月に開催される新任研修会に今年度新任の指導委員はもとより、昨年度未受講者の方は積極的に参加し、資質の向上を目指してほしい。

次に山田副会長より役員紹介の後、総務部庶務担当の村上氏より常任の確認がありました。次に各部の部長より簡潔に活動内容の説明がありました。

終了後、総務部・事業部・企画研修部員が各々顔合わせを行い、平成22年度の総会が終了いたしました。

熱心に審議に聞き入る体育指導委員



編集長 石川 輝雄(森崎学区)

新任研修会開催される

5月22日(土)に横須賀アリーナに於いて、14名の新任指導委員を対象に研修会を行いました。当日は、新任以外にも多数の参加で計35名の方が多忙な時間を割いて研鑽に励みました。

前半は、スポーツ課伊藤課長によるスポーツ課についてと体育指導委員についての2つのテーマでスポーツ関係の各種規則について学びました。

次に武会長より協議会の事業についてと協議会の部会についての2つのテーマで、普段あまり意識していない部分の役割についての説明で、非常に勉強になりました。

後半は、ニュースポーツの「ファミリーバドミントン」のデモンストレーションと「キンボール」の体験をしました。

今後は、本日の研修を肥やしに学区はもとより協議会の重人としての盛り上げに期待します。

研鑽に励む新任



キンボール研修

企画研修部長 和栗 一郎(公郷学区)

関東体育指導委員研究大会

6月4～5日

第33回高齢者健康のつどい

今年も、関東平野の真ん中に位置し、日本最高気温40.9℃を記録した熊谷で行なわれました。平成16年「彩の国まごころの国体」のメイン会場になった熊谷スポーツ文化公園・「彩の国くまがやドーム」に、1都8県から1,730名の体育指導委員が参加しました。開会式・表彰式のあと元全日本女子ソフトボール監督の宇津木妙子氏による基調講演「夢と人生」が行なわれ、初日を終わりました。

表彰式では、74名の方が表彰を受けましたが、横須賀からは村上清志氏(高坂学区)が永年にわたる功績を評価され、受賞されました。2日目は3つの分科会に分かれて研究協議が行なわれましたが、横須賀は第2分科会「めざせ！体力向上」に参加しました。

今回ご苦労いただいた埼玉県実行委員会に、若干苦言を呈したいと思います。それは素晴らしい施設にそぐわない、お粗末な企画・運営だったことです。初日は、開会式・表彰式のスケジュール管理が杜撰で、基調講演の時間が30分も短くなってしまったことです。宇津木元監督の速射砲ノックのような早口での講演は、聴くものに何の印象も残りませんでした。さらに、2日目の研究協議第2分科会の内容のお粗末さです。開催間際にテーマの変更があったのでおかしいとは思いましたが、急造のテーマであったため発表は30分で終わってしまい、質疑応答でも満足に対応できませんでした。さらに、終了時間が早いので、第2部と称して、校庭芝生化のビデオを見せていました。

貴重な時間を割き、高い参加費を払って、いろいろ学ぼうと集まってくださる体育指導委員に対し、何を持って返っていただくかプロの意識で運営して欲しいものです。

協議会会長 武 雅兄(馬堀学区)

横須賀市では、健康増進計画を基に、市民が生涯を通じていきいきとした生活をおくれる社会をめざしています。

高齢者の仲間づくりと健康の維持向上のため、毎年手軽に楽しめる種目で、本年も6月20日(日)に横須賀アリーナで実施されました。

98歳を最高齢とする60歳以上の市民、約750人が参加し、仲間と一緒に元気いっぱいのプレーが見られました。

「つどい」には、市立横須賀総合高校の吹奏楽部員110人も参加し、競技が始まる前に演奏を披露した後は、高齢者らと一緒に競技に参加しました。

編集委員 大貫 和雄(豊島学区)

110名の大吹奏楽部員の演奏～



元気いっぱいのプレー



学区児童対抗球技大会

第51回ソフトボール 第23回ミニバス 平成22年8月8日



吉田市長の開会式の挨拶



ファイト



ナイスシュート



勝利



おめでとう



宣誓！！



お願いしま〜す！



ホームイン！！



ナイスバッテング



この一打にすべてを



勝利を信じて・・・



皆！！集中していこう



おめでとう

撮影：編集担当 角田 高行(浦賀学区) 原 暁彦(長浦学区)

第50回学区対抗成人バレーボール大会

=平成22年9月5日=



よこすかアリーナでの開会式模様!

= 健闘を祈ります



裏方さん朝早くからご苦労様



~ワン・ツー・ラスト~~



こちらスコアラー担当 がんばってます



選手交代です



賞状と盾とボールの授与です



おめでとうございます!

撮影: 編集担当 押井 秀夫(鷹取学区)

第50回学区対抗成人ソフトボール大会

=平成22年9月5日=



不入斗球場での開会式模様!

=不入斗地区5会場で開催=



選手宣誓!



運営担当(審判団・指導委員)



渾身の一打



手に汗握る展開



ここで一発!!



ナイス ピッチング



賞状と盾とボールの授与です



おめでとうございます

撮影: 編集担当 原 暁彦(長浦学区)

よこすかスポーツフェスタ2010

10月11日(体育の日)「よこすかスポーツフェスタ2010」～みんなでスポーツ！！～が開催されました。連日の雨も上がり、スポーツをするのに、最高の天候となりました。

不入斗公園陸上競技場では、50メートル走・100メートル走・ボール投げ等の計測があり、軟式野球場では、ストラックアウトでの遊びが賑わっていました。メインアリーナでは、子供に人気のあるトランポリン・キッズ広場やスポーツ体験コーナーがありました。サブアリーナでは、新体力テストの測定があり、毎年楽しみに参加しているというお年寄りが来られていました。

西体育会館では、ソフトバレーボール大会で・北体育会館・南体育会館・明浜小学校グラウンドでは、ニュースポーツ・バウンドテニス・卓球・ペタンクといった体験コーナーがありました。

各温水プール・トレーニングルームも一日無料開放となり、多くの方が参加されていました。小学校の子供とお友達と一緒にこられたお母様が「いつもは忙しく一緒に遊ぶことやスポーツをする機会もなく、今日は朝からプールで泳ぎ、体育館では、ニュースポーツで汗を流し、新体力テストを受けて一日楽しく過ごすことができました。“ありがとうございました”と、帰りにお礼を言って行かれたのが印象的でした。私も、年齢とともに少々太り気味。これを機会に、スポーツに取り組んで行きたいと思えます。

企画研修部 金森 由香里(追浜学区)



北体育会館でのニュースポーツ・新体力テスト

第35回

よこすかシーサイドマラソン

第35回よこすかシーサイドマラソンが11月21日(日)に開催されました。参加ランナー5,826人が平成町付近から、観音崎先までを快走しました。

私達体育指導委員の役目は、コースでの走路員。安全なコースの確保や、緊急事態の際の救護など、昨今のマラソンブームもあり、多数のランナーを安全に走らせることは頭で考える以上に大変だった。さらに、区間によっては片側1車線をランナー達が交互走行する。年々タイムが速い方も増え、走路はいっぱいだ。しかし、毎年無事に終える事が出来るのも主催者や関係各位のお陰であると、特に学生さん達が朝早くからボランティアに駆けつけ、また道中やゴール後も暖かい声をかけてくれたとランナーのコメントが、ウェブサイトにも書いてあり自分もそのように感じました。私達体指メンバーも、このような大会に携われて光栄でした。ちなみにサイト上のコメントによる総合評価は81.8点だそうです。100点目指して次回もがんばりましょう！

編集委員 原 暁彦(長浦学区)



スタート付近の状況
みなさん ファイト



走水小学校付近の丘

奮戦記（主審を体験して）

ソフトバレーボール研修会やスポーツフェスタ2010で初めて主審を経験させて頂きました。9月12日の研修会の際にソフトバレーボール連盟の方に指導していただいた事を、念頭においてホイッスルは、メリハリをつけて強く吹き、ジャッジの自信の無い場面では、副審のジャッジを確認しながら務めました。とても緊張し、試合が終わる頃には大汗をかき、ホイッスルを強く吹いたせいか頬の筋肉が固まっていたのですが、フェスタという和やかな雰囲気の後押しされて、何とか試合を終えることができました。

初めての主審を経験させて頂いて、気付いた事は「とにかく挑戦することが大切」だと思いました。研修会で学んだことを実際に体験することで、私自身も楽しむことが出来たと思います。これからもたくさんの経験を重ねながら、楽しく活動をして行きたいと思います。

企画研修部 新倉 玲子(大楠学区)



= 長浦学区紹介 =

我が長浦小学校区は、東長浦・長浦5丁目・安針台の3自治会で活動しています。長浦小は、137年も前にお寺の私塾として開校し、大正11年に京急安針塚駅前に移動、横須賀市最後の木造校舎となり、平成4年安針台へ現在の鉄筋校舎が完成し移転しました。体指の活動としては、3地区合同活動は健民運動会のみですが、各地区体育振興会にて歩こう会・ラジオ体操・プール監視員・キャンプ・ボート大会等、催しています。

協議会でのニュースポーツ研修会も、今後益々増えると思うので、長浦学区でも挑戦してみたいものです。また、グラウンドでは、少年野球・サッカー、成人ソフトボール、体育館ではミニバス・新体操・剣道などのチームが練習に励み、スポーツ振興・健康促進につとめています。市内では珍しく、広場には芝生を敷き詰めています。将来的にはグラウンド全面芝生にするモデル校にもなっています。安針台の丘の上に建ち、緑に囲まれた気持ちの良い学校です。

編集委員 原 暁彦(長浦学区)



≪編集後記≫

あの暑い夏も過ぎ、秋の短い年でした。初の試みの大和市を迎えての交流研修会、5地区に分けての地区別交流会、少しずつであるが動き出した「武丸」はアグレッシブに県内各地を回り、変革への道をあゆみつつある。小生は、元全日本サッカー岡田監督の選手に向けた言葉が思い出されます。「言われたことをこなすのではなく、そこからリスクを冒すことに人生の楽しみがある」また大楠学区の新倉さんの奮戦記の結びの言葉のように、皆さんも「たくさんの経験を重ねながら」前向きに多くの体験をしては如何ですか。

編集長 石川 輝雄(森崎学区)